

大門だより

No. 7

(467号)

荒川区立大門小学校

校長 野澤 一代

令和5年 11月 1日

大門小ホームページ

荒川区立大門小学校

検索

《本校の教育目標》 考える子 やさしい子 たくましい子

「 スポーツの秋 」

校長 野澤 一代

十一月の季語。立冬、初冬、七五三、大根、鷹狩、小春日和。暑い夏が長かったせいか、ここ最近の涼しさを本当にありがたく感じます。学習していても運動していても「心配がない」。何よりです。各学年はこの時期こぞって、遠足や社会科見学、移動教室です。そして先日は持久走大会。そんな行事や学習を通して、大門小学校の児童には「がんばる心、応援する心」を培ってほしいと思います。

10月11日に尾久6校が集まって、今年度も連合運動会を実施することができました。連合運動会へ向かう緊張した面持ちの6年生に5年生を中心に全校で激励集会を行い、送り出しました。ここに至るまで5年生は応援を考え、練習し、その気持ちを受けて各学年で練習していました。本番で6年生は十分に力を発揮し、笑顔でゴールしていました。運動会でもご覧いただけたと思うのですが、大門小の子供たちはがんばっている人を応援する気持ちをとってもっています。

「頑張っている人を応援する心」は思いやりや優しさの最たるものです。自分の心の状況を置いて、人のために考える。そう簡単な心持ちではできません。また、連合運動会の走り高跳び・女子では、尾久6校の選手が初顔合わせなのに、誰かが跳べると拍手をし、跳べた選手を称賛していました。この「思いやりと優しさ」がずっと続くと、世界大会の様々な競技会場で見られる選手の礼儀正しさ、日本人サポーターの試合終了後のゴミを拾う姿等につながっていくのだと感じます。

そして、先月は読書月間でもありました。今回の読書月間は新しい試みがありました。「読書月間スタンプラリー」です。スタンプラリー自体は定番なのですが、今回はカードの最後が大門小定番の「ラスボスに挑戦」が取り入れられ、「読んだ本の感想を校長先生に伝える」という欄が設けられました。校長室を尋ねて来てくれ、読んだ本を説明してくれる児童は、本当に素敵な笑顔で話してくれました。話しながら、私がいくつか質問をするのですが、きちんと答えてくれ、しっかり本を読んだ様子が伝わりました。図書委員会のメンバーも読み聞かせ会をしたり、昔話クイズを出したりと大忙しの休み時間でした。

過ごしやすくなった季節。ご家庭でも運動や読書の時間をお子様と共有してはいかがでしょうか。